

かのう  
⑥嘉納 <千代田町>

人口 134 人、世帯数 37 世帯

嘉納地区は、千代田町の北部、城原川の東側に位置しています。

地区には春祭り、大祭り等の行事がありますが、特に9月12日の鼻高天狗祭りは、天保12年から地区に受け継がれてきた伝統の儀式「神水(しえー)かけ」が行われます。

当日は早朝に氏神様に保管されている赤・黒2面の鼻高天狗を氏子が専用の棒先に面を取りつけ、それを担いで海水が湧き出る川まで運び、塩水で天狗面を清め、天地大自然の力を招き、五穀豊穡、地区の繁栄と親睦、無病息災を願うお祭りです。

今後も地区の興隆と繁栄・融和のため、先人の残したお祭りや行事等は守り続けていきたいと思っております。



▲「神水かけ」に向かう氏子(嘉納の天満宮)

だいま  
⑤大門 <神埼町>

人口 106 人、世帯数 28 世帯

大門地区は、神埼町南部に位置し、水田が広がる平野部に地区が広がっています。集落周辺には水路、堀が廻っており、堀に浮かぶ白鷺の住む島の光景は幻想的で、写真家や野鳥愛好者が多く訪れる場所となりました。田植え時期はトラクターの後をついてまわる白鷺の姿が初夏の風物詩となっています。

大門地区には農業にまつわる伝統的な行事がいくつか残っています。豊作と安泰を願って、地区の中心部にある若宮神社を昔から大切に祭ってきました。12月上旬には、しめ縄を造り神事を行います。地区住民の親睦を深める行事として今も受け継がれています。



▲しめ縄かざり(若宮神社)

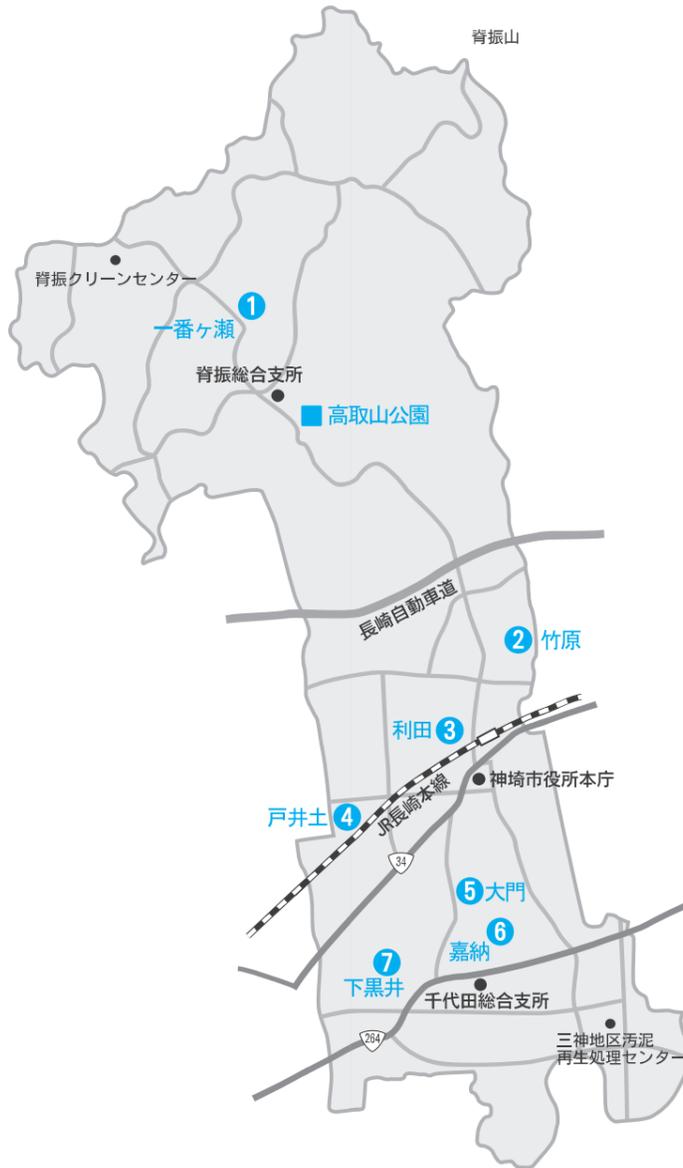
# 地区紹介 9



市民相互の理解と融和を図るため、市内121地区(神埼:63地区、千代田:49地区、脊振:9地区)を紹介しています。

今回は、7地区を紹介します。

※人口、世帯数は、平成20年10月末日の住民基本台帳のデータです



たかわら  
②竹原 <神埼町>

人口 195 人、世帯数 59 世帯

竹原には昔から「権現さん」と地区民にいられている鰐(わに)神社があります。

この神社の境内には立石、祠による多数の神々を祀っています。その中の一つに第十五代天皇応神朝時代の日本国に漢字と儒教を伝えた(日本の史書古事記、日本書紀に記されている)と云う朝鮮半島百濟国よりの渡来帰化人王仁博士の祠があります。(隠れた学問の神様として信仰者あり)

この神社へ春の菜の花マーチ、秋のJRウオーグの時には、各地より多くの参拝者があります。ひと時の憩いを癒やしてもらうために地区婦人会によるお茶のもてなしをしています。



▲菜の花マーチ時のもてなし風景

いちばかせ  
①一番ヶ瀬 <脊振町>

人口 160 人、世帯数 85 世帯

一番ヶ瀬地区は、脊振町北西部に位置し、県道三瀬神埼線と城原川に並行する東西に細長い地区です。

県道河川改修により地区全体を一望できるようになりました。

地区中央部北側の高台には、地名由来の一説である「一番ヶ瀬左近氏」の墓所があり、隣接する祇園尊では毎年7月15日に「ごあんさん祭り」が盛大に行われます。

近年、過疎・高齢化が進んでいますが、地域環境美化活動には、県道・市道・河川等の雑草繁茂期に地区住民総出で草刈りなどに取り組んでいます。



▲祇園祭の観音さん

たかとりやまこうえん  
■高取山公園 <脊振町>

山の斜面を利用した遊具が特徴。安全でキレイな自然の中で思いっきり遊べます。全長約200mのローラーすべり台や、山頂まで登れるリフト(モノライダー)、わんぱくライダー、草スキーをはじめ、テニスコートや展望台などを持つ、山を生かした公園です。700本の桜が咲く季節や、つつじ、しゃくなげ、あじさい、もみじの咲く季節には、自然公園の散策を満喫してください。

また、地元で採れた、採れたての新鮮な野菜や物産なども販売しています。お食事もできます。



▲自然の傾斜を活かした公園

<お詫びと訂正>

市報かんだぎ11月号17ページに掲載した上犬童の写真の説明に誤りがありました。ここにお詫びし、訂正します。

(誤) 藩政時代の「犬童林」記念碑  
(正) 犬童林開拓記念碑

しもくろい  
⑦下黒井 <千代田町>

人口 178 人、世帯数 52 世帯

下黒井は、くろいという古称で親しまれてきた50戸程の地区です。地域ぐるみわんぱく事業の一環として親子グランドゴルフや豆祇園を催しています。子ども達に「くろい-はよかところやろう」と尋ねると「え?くろい」と返されます。

その下黒井は、中地江川、上黒井、十条と隣接し、東経130°21'北緯33°16'(新日本地名索引)に位置し、天保郷帳(1834年)の石高には、521.840と記録されています。平成15年3月には、新しく、神殿・公民館を建立。元日や村祭りの時は、五穀豊穡、家内安全を感謝・祈願しています。



▲下黒井天満宮

といで  
④戸井土 <神埼町>

人口 38 人、世帯数 10 世帯

戸井土地区は、神埼市の西端に位置し、市内で最小地区だと思えます。

私たちの地区は、昔、天竺川(俗称、テンチッコウ)と呼ばれていました。いわれは、昔は、西郷地区の「水の都」と言われる程、ちょっとの雨で冠水状態になり、その昔、御殿様が通り掛かりその様を蛇取橋の上から、この村を眺めて「これは、天竺(昔のインド)の川の様だ」と言われ、それが天竺川と呼ばれるゆえんです。

20年前位までは、昔と一緒に、冠水常襲地区でした。今は、近くを佐賀導水が通り改善はされましたが、昔も今も、私たちの地区住民は、水との戦いが生活の一部であって早く、この苦勞が報われる様一同がんばっています。



▲エッフェル塔の見える地区

としだ  
③利田 <神埼町>

人口 347 人、世帯数 105 世帯

利田地区は、JR長崎線の北方で、城原川の西側に位置し、竹地区の他の6地区と境界をなす自然豊かな地帯です。平成15年には、吉野ヶ里歴史公園から通じて、当地区中心部を西方へ貫く「ふるさと農道」「ふるさと大橋(城原川)」の完成により、町へ行くのも大変便利になりました。以前は、30数戸の小さな地区でしたが、今では、100戸の大きな地区となり、春と秋には地区民あがて、川や堤防などの清掃を行い、環境美化に取り組んでいます。

また、地区周辺の城原川堤防や歩道・農道は、ウォーキングやジョギングなどの快適コースで、楽しむ人が年々増えています。



▲ふるさと大橋付近